

三岐(C)地区  
がけ崩れ対策事業

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現  
施策3：防災インフラの整備（中長期レジリエンス戦略）

事業概要

- 所在地：上野村大字檜原
- 地区名：三岐（C）地区
- 事業内容：崩壊土砂防護柵工
- 全体事業費：約2億円
- 事業期間：令和3年度～令和6年度（4年間）
- 保全対象：避難所 1箇所  
人家 4戸（うち特別警戒区域内1戸）

崩壊土砂防護柵とは、  
斜面から崩れ落ちる土砂を、鋼杭とフェンスで受け止め、  
被害を防止するものです。

どのような目的を達成するための事業か

- ・土砂災害リスクを軽減するため

防護柵を  
つくります



・人家や避難所を守るために、早急に対策をしてほしい。（近隣住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
保全される避難所	0箇所	1箇所
保全される人家	0戸	4戸

実施前

- ◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

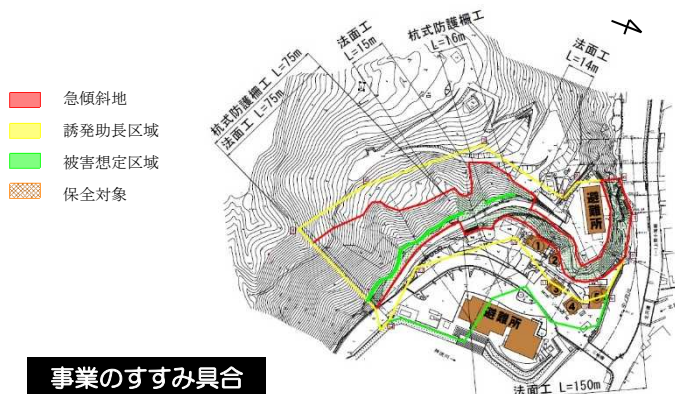


実施後

- ◆防護柵をつくることにより落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業の進捗状況（R4年3月現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ● ..... ● 事業完了

今、何をしているか

令和3年度は、詳細設計及び用地調査を実施しました。  
令和4年度は、工事を実施します。



R4年度事業箇所